

平成27年度

第2回放課後子供教室コーディネーター等研修会

活動プログラム シート集



平成28年3月10日（木）

広島県教育委員会


目 次





尾 道 市	向島中央放課後子供教室・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	西藤放課後子供教室・・・・・・・・・・・・・・・・	2
福 山 市	川口東学区放課後子供教室・・・・・・・・・・・・	3
	引野学区放課後子ども教室・・・・・・・・・・・・	4
庄 原 市	山内放課後子供教室・・・・・・・・・・・・	5
	峰田放課後子供教室・・・・・・・・・・・・	6
大 竹 市	かめっこクラブ放課後子供教室・・・・・・・・・・	7
	よつばクラブ放課後子供教室・・・・・・・・・・	8
	//・・・・・・・・・・・・・・・・	9
	//・・・・・・・・・・・・・・・・	10
東 広 島 市	三ツ城わくわく広場・・・・・・・・・・・・	11
府 中 町	府中町放課後子供教室・・・・・・・・・・・・	12
	//・・・・・・・・・・・・・・・・	13
熊 野 町	土曜くまのっ子教室・・・・・・・・・・・・	14
坂 町	横浜放課後子供教室・・・・・・・・・・・・	16



活動プログラム シート

向島中央放課後子供教室 【 尾道市 】	教室の概要
	開催日・開催時間：週2～3回 水・金 14:00～17:00 土（児童クラブとの合同行事） 10:00～12:00 年間開催日数：55日 参加学年・平均参加人数：1～5年 41名 実施校区：向島中央小学校 主な活動場所：向島中央小学校ランチルーム・図工室等

プログラム名	
放課後児童クラブとの合同行事<キューブ型万年カレンダーを作ろう！>	
活動の概要・ねらい	準備物
今年の干支にちなんでサルのカレンダーを作る。 英語で12か月の言い方を知る。 きまり（人の話をしっかり聞く。勝手な行動を取らない等）を守って、最後まで頑張る作り、作り上げた喜びを味わう。	<材料>サルの箱や月・日付となる部品(パーツ)等を印刷した用紙 新聞紙 12か月のカード（英語と日本語）・プリント <道具>はさみ のり（定規 使用済みのボールペン） 色鉛筆 お手拭タオル CD ラジカセ

活動の手順（流れ）	
(1) 12か月を英語で発音する。ロンドン橋の曲で12か月を歌う。 (2) キューブ型万年カレンダーの作り方の説明を聞いてから作り始める。 ①サルの箱の部分のパーツをはさみで切る。サルの目や口になる部分を切り抜く。 折り目をつけて糊付けて組み立て・貼り合せる。 ②英語の月のところに鉛筆で日本語の月を書く。 ③月・日付となる部品パーツを切って、糊付けて組み立て、貼り合せる。 ④月、日付となる部品を箱に入れると、出来上がり	
振り返りの活動	
○今日のめあてが達成出来たか、振り返る。 ○思ったこと、心に残ってこと等を発表する。	
活動上の留意点（工夫している点）	
<ul style="list-style-type: none"> 異学年交流が出来るようグループ編成をする。 12か月を英語で言いやすいように、プリント・カードを用意する。覚えやすいようにロンドン橋の曲に合わせて歌わせる。 前もって、サルの目や口をだまかに切り抜きしておく。折り目もつけておく。 出来上がるまでにかなり時間がかかりそうな子やできにくい子へ手助けをする。 早く出来上がった子は、曜日などのキューブも作る。白い紙の物は自分が必要な項目を考えさせる。（例えば、遊び・勉強・お手伝い・習い事・買い物等） 	

取り組む子供たちの様子・気付き・困っていること
<ul style="list-style-type: none"> みんな集中してよく頑張る作っていた。出来上がって、みんな満足気だった。 「作るのは楽しかった。」「自分の部屋や玄関に飾るよ。」等と言いながら、うれしそうに持って帰っていた。 糊付けをして、組み立てるところがむずかしそうだった。

活動プログラム シート

別紙様式 2


西藤放課後子供教室 【 尾道市 】	教室の概要
	開催日・開催時間：水・金曜日 15:00～16:30
	年間開催日数：70日
	参加学年・平均参加人数：1年～4年 10人
	実施校区：西藤教室小学校区
主な活動場所：西藤小学校家庭科室及び体育館運動場	

プログラム名	<物づくり> 「牛乳パックで小物入れ作り」
活動の概要・ねらい	準備物
・牛乳パックに包装紙を貼りつけて手提げにもなる小物入れの作成。包装紙の模様を自由に選んで小物入れを作る。	<材料> 牛乳パック 包み紙 丸シール <道具> はさみ のり 両面テープ


活動の手順（流れ）

① 牛乳パック(籠 19.5 cm×21 cmと柄 25 cm×1.5 cm)の表に包み紙を貼る。

② 側の太線のところをはさみで切る。



柄(25 cm×1.5 cm)



横 19.5 cm (6.5×3)


あ	い	う
牛乳パック		
え	お	か

縦 21 cm
(7×3)

③(あ)と(う)を(い)の面に重ねて、両面テープで止める。
同様に(え)と(か)を(お)の面に重ねて、両面テープで止める。

④ (25 cm×1.5 cm)を(い)と(お)の面の内側に両面テープで貼り付ける。

⑤ 貼りつけたところに、丸シールを貼って、出来上がり。



振り返りの活動

- ・出来上がったの感想や気づきを聞いた。
- ・工夫したところや難しかったところを聞いた。
- ・身近にある材料を再利用して簡単にできるので、家でも作りたいという子もいた。
自分の作品に満足していた。(お便り等で紹介し、各教室に広めている。)

活動上の留意点（工夫している点）

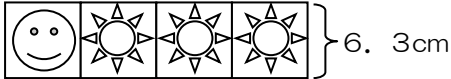
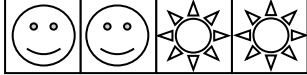
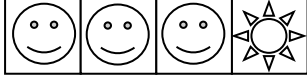

- ・活動時間が少ないため、あらかじめ指導者のほうで、包み紙を牛乳パックに貼り付けておく。(児童にやらせてもよい)
- ・両面テープでしっかり止める。

取り組む子供たちの様子・気づき・困っていること
・小物入れができるまで、集中して作業をすることができた。 ・出来上がった小物入れに満足していた。 ・指導員が包み紙を貼るところまで準備していたが、子どもたちにやらせてもよかったのではないかと。参加人数も多くないので困ったときには、指導員で支援できると思う。

活動プログラム シート

川口東学区放課後子供教室 【 福山市 】	教室の概要
	開催日・開催時間：1月22日（金）15:10～16:20 参加学年・平均参加人数：1～3年生 21人 実施校区：川口東学区 主な活動場所：川口東小学校 図書室

プログラム名	
＜工作＞牛乳パックでつくるキューブパズル	
活動の概要・ねらい	準備物
牛乳パックを利用して、キューブパズルを制作する。9面に子どもたちの好きな絵を描き、色を塗ったり、テープでつなげたり、独創性を持たせて制作する。	＜材料＞牛乳パック（3等分の線を引いておく） ＜道具＞はさみ・セロテープ・マジック

活動の手順（流れ）	
①牛乳パックの線を引いているところをハサミで切り、3等分にする。 ②4等分になっているところに好きな絵を描き、色を塗る。（同じマークには同じ絵を描く） ③イとハをそれぞれセロテープでしっかり貼り付ける。 ④イとハの間に口を入れてセロテープで貼り付ける。	
イ  □  ハ 	
<ul style="list-style-type: none"> 制作してできたパズルを使い、全員で早く合わせる競争をして遊ぶ。 1人1人の作品をお互いに鑑賞し合い、全員が楽しんで参加する。 	
振り返りの活動	
<ul style="list-style-type: none"> 公民館・ボランティア・コーディネーターと、実施の様子や今後の活動に向けての改善点を話し合った。 	
活動上の留意点（工夫している点）	
<ul style="list-style-type: none"> テープを使って牛乳パックを貼り合わせるところが一年生には難しく、スタッフの補助が必要だった。 六面を合わせるコツを考えさせてみる。 家に持ち帰り、家族と制作して親子で楽しんで競争してもよい。 	

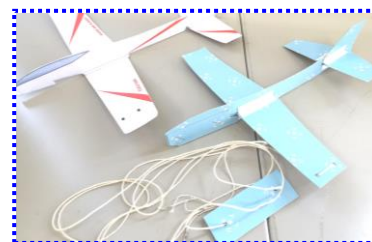
取り組む子供たちの様子・気付き・困っていること	
<ul style="list-style-type: none"> 制作したパズルで競争して、1番になった子どもはとても嬉しそうで、盛り上がりました。 参観日型の放課後子ども教室の開校の第1回目として子どもたちは「工作」を楽しみにして参加していました。 サポーターさんと前もって作ってみたいならもっとスムーズに指導できたと感じました。 	

活動プログラム シート

引野学区放課後子ども教室 【 福山市 】	教室の概要
	開催日・開催時間: 2週間に1回 木曜日 15:00~17:00 年間開催日数 : 30回前後 参加学年・平均参加人数 : 1~6年生 30人 実施校区 : 引野学区 主な活動場所 : 引野集会所

プログラム名	
自由学習・ミニ工作・走り方教室	
活動の概要・ねらい	準備物
お楽しみが始まる前には必ず宿題などの学習をすることを決めている。時間がきたら学習をやめて、工作や特別な教室を始める。	<材料>型紙・ひも など <道具>のり・はさみ

活動の手順（流れ）	
(ぶん回しひこうき)	
①部品を印刷した型紙をカットし、飛行機の部品をつくる。このとき紙の中間を切る作業もあるので、大人が気をつけながら、けがのないように作業する。	
②飛行機の頭の部分にオモリとして紙を張り付ける。	
③飛行機の片翼に鉛筆などで穴をあけ、取っ手にも穴をあける。	
④あけた穴にひもを通してくくったら完成。	
(走り方教室)	
福山市の企業 JFE の陸上部のみなさんに講師をお願いして、子どもたちを対象に走り方教室を開いてもらった。自己紹介とストレッチの後、50m走のタイムを計ります。みんな一生懸命走ったので、全員にタイムを書いた記録証を配りました。	
最後に質問タイムも設けて、みんなで楽しく走り方を学びました。	
振り返りの活動	
・教えてくれた地域の大人の人には全員でお礼を言って、大事に持って帰るように声かけをしている。	
活動上の留意点（工夫している点）	
・はさみなどを使うので、けがのないように声かけや確認をしながらしている。 ・自由学習の後のお楽しみは、毎回テーマを変えて子どもが飽きないように工夫している。 ・地域企業との連携も図りながら、多方面から子どもの育成ができるよう工夫している。	



取り組む子どもたちの様子・気づき・困っていること	
・お楽しみの時間では、落ち着きのない子もいるが、自由学習の時間にはきちんと座って学習できている。メリハリが大事。 ・毎回のお楽しみの内容を考えるのを困っている。ネタが尽きてくる。	

活動プログラム シート

山内放課後子供教室 【 庄原市 】	教室の概要
	開催日・開催時間：平日 下校時～18:30 長期休業中 8:00～18:30 年間開催日数：240日 参加学年・平均参加人数：1～6年 10人 実施校区：山内小学校区内 主な活動場所：庄原市山内自治振興センター

プログラム名

地域の子供は地域で守り、地域で育てる

活動の概要・ねらい	準備物
放課後や長期休業中の子供たちに活動拠点を提供するとともに、様々な活動を体験することにより、子供たちの力を伸ばし、豊かな人間性を育む。	清掃ボランティア、英語学習、平和学習、地域交流、体力づくり、自然体験活動、企画活動、それぞれにあわせて必要となるもの。

活動の手順（流れ）

安全・安心な子供の活動拠点を設け、地域住民の方々の参画を得て、子供たちとともに、勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動などの取り組みを推進することを目的に活動を行う。

具体的には、読み聞かせや英語、音楽などの学習活動、川遊びや農作物栽培などの自然体験活動、人形劇などに取り組む文化活動、ふるさと祭りの参加による地域交流、卓球やドッジボールによる体力づくり、原爆慰霊碑清掃ボランティアを通しての平和学習など、15人の教育サポーターが多様な活動の展開を行っている。

振り返りの活動

毎月1回指導者会議を開催し、前月の活動の様子やその月の活動内容を検討するとともに、指導者の意識の統一を図っている。保護者からは「基本的な生活習慣が向上した」などの感想が寄せられ、家庭ではできない様々な体験活動を通して、子供たちの成長が見られることへの高い評価を得ている。

活動上の留意点（工夫している点）

自治振興センターを活動拠点にしている利点を活かし、教室の活動成果を展示し地域住民の方への広報活動が可能となっている。そのため、教室内での異年齢間交流だけではなく、地域住民とかわる機会が増え、地域全体で子供を育成する仕組みが確立している。

取り組む子供たちの様子・気付き・困っていること



子供たちのそれぞれの体験活動への意欲的な参加により、家庭でも子供たちの成長を感じることができるということにうれしさを覚えている。今後より多くの子供たちにたくさんの体験活動に参加してもらいたいと思う。

活動プログラム シート

別紙様式 2

峰田放課後子供教室 【 庄原市 】	教室の概要
	開催日・開催時間：月～水、金曜 15：45～18：45 木曜 14：45～18：45 年間開催日数：240日 参加学年・平均参加人数：1～6年 8人 実施校区：峰田小学校区内 主な活動場所：峰田小学校ふれあいの広場、体育館

プログラム名	
絵手紙（世代間交流）	
活動の概要・ねらい	準備物
近年、触れる機会が少なくなった、葉書に絵を描き、その絵に一言を添える絵葉書を学年の垣根を越えて交流しながら体験する。 作成所要時間は90分。	〈材料〉葉書、果物、野菜、草花 〈道具〉クーピー、絵の具、マジック

活動の手順（流れ）	
<ol style="list-style-type: none">① 絵を描く題材を選び、それを葉書に鉛筆で下書きをし、マジックペンで縁取りをする。② はじめは薄く色を塗り、その後しっかりと塗ることにより、グラデーションや濃淡の差をしっかりとつける。③ 余白部分に葉書を送る人へのメッセージを書く。	
	
振り返りの活動	
個々の作品を見せ合い、作成時の工夫した点、どんなことを考えながら作ったか等の今回の体験を通しての感想を述べ合った。	
活動上の留意点（工夫している点）	
低学年は絵の具を使い慣れていないため、クーピーを用いて色を塗り、高学年は絵の具を用いて色を塗った。 そのため、学年によって出来上がった葉書に特徴が違って面白かった。	

取り組む子供たちの様子・気づき・困っていること
最初の絵の題材を選ぶ段階において、なかなか決まらない人もいた。 題材が決まると皆、楽しそうに一生懸命に取り組んでいた。 今回作った作品は展示され、賞をもらえる子もおり、とても良い経験であったとおもう。

活動プログラム シート

別紙様式 2

かも、こクラブ ○○放課後子供教室 【 大竹市 】	教室の概要
	開催日・開催時間： 木曜日 15時～16時30分
	年間開催日数： 17回 (H27年度10月から開講)
	参加学年・平均参加人数： 4～6年生 20人
	実施校区： 小方小学校区
主な活動場所： 小方学園 工作室及び多目的ルーム	

プログラム名	のぼて 亀居城探険とお茶会(野点)
--------	----------------------

活動の概要・ねらい	準備物
大竹市にある亀居城跡と大竹歴史研究会の方に案内・説明をもらいながら探険し歴史を学ぶ。野点を体験し作法を学ぶ。	歴史資料、鉛筆



活動の手順(流れ)
① 小方学園より歩いて10分の亀居城跡へ移動 ② 大竹歴史研究会の方と合流し、資料を配り説明を受ける。その後一緒に歩きながら何箇所かのポイントへ行く。 ③ 亀居城跡の大舞台の前で野点を体験する。作法を習い、和菓子と抹茶を頂く。



振り返りの活動
教えてもらったこと、体験したこと、感想を活動ノートに書いてもらう。

活動上の留意点(工夫している点)
歴史研究会の方と資料を作成し、小学校高学年にわかりやすく内容と工夫した。実際に亀居城跡へ行き、説明を受けながら探険することで、より興味を持ってもらう。お茶会は、体験したことある子供も多少いたが、野点は皆初めてで、貴重な体験してもらった。

取り組む子供たちの様子・気づき・困っていること
初め、資料を見て説明を聞く時より、実際歩きながらポイント部分で説明を受けながら、子供達も興味深く聞き入っていた。抹茶の作法を知らず、子供がほとんどで緊張してきょろきょろしながら頂いていた。

※ 複数の活動プログラムを提出される場合は、この様式をコピーして記入してください。

活動プログラム シート

別紙様式 2

よつばクラブ ○○放課後子供教室 【 大竹市 】	教室の概要	
	開催日・開催時間：	木曜日 16時30分～18時
	年間開催日数：	27日
	参加学年・平均参加人数：	3～6年/4人
	実施校区：	大竹小学校
	主な活動場所：栄公民館	

プログラム名
〈工作〉 ドングリトトロ作りと写真撮影

活動の概要・ねらい
大小のドングリでトトロを作り デジカメで接写し作品にする 作成所用時間 60分

準備物
デジカメ・白黒マツック 落ち葉・枝・鳥の羽根 マッポックリ・色紙 ライト

活動の手順（流れ）
<ul style="list-style-type: none"> ・ドングリにトトロ風の顔をマツックで描く。 ・落ち葉、木の枝等を使い、自由にレイアウトしデジカメで写真撮影。 （スタッフがトリミングをして写真に仕上げる）



振り返りの活動
<ul style="list-style-type: none"> ・作品を公民館に展示して市民に見てもらった ・花の名を聞きに来た子がいた（キンモクセイ） （スタッフが文章を入水物語風に仕上げた）



活動上の留意点（工夫している点）
<ul style="list-style-type: none"> ・自由な発想で作る ・接写時 手ぶかに注意させる





取り組む子供たちの様子・気づき・困っていること
<ul style="list-style-type: none"> ・子供に文章を考えたかったが時間がなかった ・公園や森に行く材料集めがよかったが日程的に無理だった ・写真撮影が初めての子供もいて、真剣にとり組んでいた。 ・作品を見た親が感心していた

※ 複数の活動プログラムを提出される場合は、この様式をコピーして記入してください。

活動プログラム シート

よつばクラブ ○○放課後子供教室 【 大竹市 】	教室の概要
	開催日・開催時間： 木曜日 16時30分～18時
	年間開催日数： 27日
	参加学年・平均参加人数： 3～6年 14人
	実施校区： 大竹小学校
主な活動場所： 栄公民館	

プログラム名 ペーパークラフト	
〈工作〉世界一よく飛ぶ紙ひこうき作りと競技大会 (飛距離・正確性)	
活動の概要・ねらい	準備物
紙ひこうきはなぜ飛ぶか？ なぜ失速・落下するか？ 作成所用時間 20分	A4 ペーパー

活動の手順 (流れ)	
<ul style="list-style-type: none"> 紙ひこうき折りの各工程の現物を呈示する (4段階) 体育館で競技大会 上位入賞者に賞状を出す 	
 	
振り返りの活動	
<ul style="list-style-type: none"> よく飛ぶひこうきをじっくり観察して作り方の工夫をしてみよう。 前部にクリップをつけるとどう変わるかやってみよう。 左右のバランスを考えてみよう。 (名前を入れたり、絵をかくとバランスがくずれる) 	
活動上の留意点 (工夫している点)	
<ul style="list-style-type: none"> オリジナルの折り方での大会参加も可とする 揚力・抵抗・推力・重力について学ぼう 	



取り組む子供たちの様子・気づき・困っていること
<ul style="list-style-type: none"> 工作と運動で楽しそうだった。 何度も作りなおし、テスト飛行をくり返していた 夢中になって飛ばしていた。(競技大会) ひこうき当て遊びを始める(顔面は厳禁)

活動プログラム シート

別紙様式 2

<p>よつばクラブ 大竹市放課後子供教室 【 大竹市 】</p>	<p>教室の概要 開催日・開催時間：木曜日 16:30～18:00 年間開催日数：27回 参加学年・平均参加人数：3年～6年 14人 実施校区：大竹小学校区 主な活動場所：栄公民館</p>
--	---

<p>プログラム名 (体験活動) 三倉岳登山</p>	
<p>活動の概要・ねらい 国体山岳会場にもなった三倉岳に、みんなで登る。山の空気や植物、風景など自然にふれながらみんなで頂上を目指して登ることで子ども達の仲間意識を高め、豊かな心を育成する。</p>	<p>準備物 救急セット、水分、凍らせた飲み物、塩分チャージタブレット、タオル、着替え、帽子、弁当、トランシーバー、携帯電話、カメラなど</p>

<p>活動の手順（流れ）</p>	
<p>①山登りに詳しい人に相談し、協力者を複数確保する。 ②タイムスケジュール、行程、登山ルート、必要なもの等を決める。 ③当日公民館に集合し、現地まで協力者に車をだしてもらおう。 ④注意事項を説明し、出発。 ⑤休憩をとりながら頂上をめざす。 ⑥頂上で弁当を食べる。 ⑦下山する。 ⑧車で公民館まで帰り、解散。</p>	 <p>登山風景の2枚の写真。左は頂上付近で休憩している様子、右は登山道を進んでいる様子。</p>
<p>振り返りの活動</p>	
<p>・最終回に感想や頑張ったことを書き、写真を印刷したものを貼り付けて振り返った。</p>	
 <p>振り返りの活動の様子。写真と手書きの感想が写っています。手書きの感想には「7月31日 みくらたか と登った! たいへん でした。」とあります。</p>	
<p>活動上の留意点（工夫している点）</p>	
<ul style="list-style-type: none">・真夏の登山なので、熱中症にならないように水分や塩分補給を必ず行う。・途中で景色の良いポイントやめずらしい植物などがあれば立ち止まってみんなで鑑賞する。・トランシーバーを使って常に管理棟やみんなと交信する。	

<p>取り組む子供たちの様子・気づき・困っていること</p>
<ul style="list-style-type: none">・子どもたちはとても楽しそうに登り、頂上まで行けた子ども達は達成感を味わっていた。・途中でリタイヤした子どもが3人、熱中症になってしまった子どもが1人出てしまった。・最も気温が高い時期に開催したので、時期を再検討したい。

活動プログラム シート

別紙様式 2

○○放課後子供教室 【三ツ城わかば広場】	教室の概要
	開催日・開催時間：毎週木曜日、土曜日(行事)
	年間開催日数：53日
	参加学年・平均参加人数：2年～6年生、100人
	実施校区：三ツ城小学校区
	主な活動場所：三ツ城コミュニティハウス

プログラム名

< 工作 > 水族館をつくらう

活動の概要・ねらい	準備物
・ビニル袋の底に切りぬいた魚 2～3匹を つり下げ、袋の口を下に向けて高い所から 落下させる。 ・海の中で、まるで魚がゆらゆら泳いでいる 様子を想像しながら作る。 ・ゆらゆら、ゆれ落ちる様子もたのしむ。	< 材料 > 画用紙、カラーセロファン、糸、折り紙、 ビニル袋、 < 道具 > 割り箸、ハサミ、ホチキス、マジック、セロファン、色鉛筆

活動の手順 (流れ)

- ビニル袋の口の周りに
巾3cmの画用紙を貼
る。

- 魚・海藻 etc. 色をつけて
切りぬく
- 
 - 袋の底に魚・海藻 etc.
を貼る。
 - 次に袋に空気を
入れて上から下に
落とす。
 - 魚が泳いでいるのが
見える。






振り返りの活動

・作品が完成したら、先ず5～6人のグループに分けて、各グループに学生さんたちが入って、作品の
 一つを見ながら、がんばった所、工夫した所など、いろいろ助言したり、ほめたりしていた。
 ・その後、全体でお互いの鑑賞しながら、「この部分、とても良くできているけど、どのお
 りにして作ったのですか? 教えてください。」……など、質問をしてみました。

活動上の留意点 (工夫している点)

・人数が多い為、2つの部屋に分けて指導(2年生と4・5年生)と(3年生と6年生)にしている。
 ・学習に入る前に、「学習の目あて」「作品を作るねらい」「作る順序」を黒板にきちんと
 書いて説明して始めてくれるので、子どもたちは各自スムーズに進めることができた。
 ・2つの教室の高学年が自分の作品も作りながら、困ったときには低学年に声を
 かけたり、手伝ってくれていました。

取り組む子供たちの様子・気付き・困っていること

・作品を作る手順が書いてあるので、スムーズには上げることができ、優しい友だちを
 手伝ったり、助言してくれていました。
 ・工作はやはり以前取り組んでいた「作って遊ぶ」「作って食べる」など、子どもが作業後
 どうするのか目的をはっきりさせているとよい、そう興味をもってやるのではなかろうか。
 ・作った作品は、みんな大切に持って帰っているのは、嬉しいことです。

※ 複数の活動プログラムを提出される場合は、この様式をコピーして記入してください。

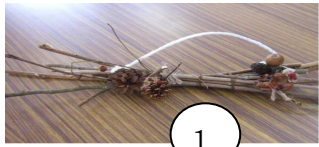



活動プログラム シート

別紙様式 2

府中町放課後子供教室 【町内 5 校】	教室の概要
	開催日・開催時間：水曜日・下校時間より 17 時（冬場 16 時 30 分） 年間開催日数：各校 34 日 参加学年・平均参加人数：各校 15 人 実施校区：府中小、南小、中央小、東小、北小 主な活動場所：各小学校

プログラム名
〈工作〉みくまり峡の自然素材でオーナメント作り

活動の概要・ねらい	準備物
府中町の身近な自然素材を取り入れた、ドア飾り、マツボックリツリー、リース等を作成して、家に飾ることにより、府中町の豊かな自然を感じて、郷土愛を育てる。 作成所要時間各 60 分	《材料》1 小枝、木の実等、ワイヤー、ひも 2 マツボックリ、ビーズ、リリアン、ペットボトルふた 3 つる、木の実等、リボン、ドライフラワー、ワイヤー 4 木の輪切、小枝、マツボックリ、木の実等、動眼 《道具》グルーガン、ボンド、ハサミ


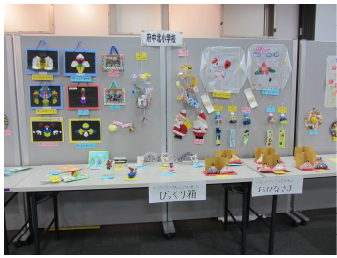
活動の手順（流れ）	
【1 ドア飾り】 ① 小枝（20～30cm）数本を束にして、ワイヤーで両端を止める。 ② ひも（60cm）で両端のワイヤーの上を結ぶ。 ③ バランスを見ながら枝、木の実をグルーガンでつける。（ドライフラワー等があれば使用する。）	1
【2 マツボックリツリー】 ① マツボックリにビーズをボンドでつける。②リリアンを飾る。③ふたにマツボックリを固定する。	
【3 リース作り】 ① つるを輪にしてワイヤーで止める。②木の実等や、リボンをつける。	2
【4 自由に飾り物】 ① 木や木の実等で自由に飾りを作る。（木の実に顔を描いてもOK。）	
振り返りの活動	3
・教室で出来上がり作品の披露。苦労した点、良くできた点の発表。 ・年度末に 1 年間の成果発表の場、作品展へ展示する。	
活動上の留意点（工夫している点）	4
・コーディネーターが作品見本を作製して、作品のイメージがわくようにしている。 ・グルーガンは、やけどをしないように注意して見守る。低学年には、手助けする。 ・材料をみんなで仲良く分け合う。	

取り組む子供たちの様子・気付き・困っていること
・自然の素材ということで、形が複雑な物など、グルーガン、ボンドがつきにくく、苦労していました。 ・子供たちの発想力にびっくりするものが多くありました。 ・自然の物に親しみ、いきいきと作成していました。

紙様式 2

府中町放課後子供教室 【町内 5 校合同】	教室の概要
	開催日・開催時間：水曜日・下校時間より 17 時（冬場 16 時 30 分）
	年間開催日数：各校 34 日
	参加学年・平均参加人数：各校 15 人
	実施校区：府中小、南小、中央小、東小、北小 主な活動場所：各小学校

プログラム名 〈催し〉作品展・かるた大会	
活動の概要・ねらい 一年間の活動の集大成として、百人一首かるた大会と作品展を行う。かるた取りの他に、暗唱や坊主めくりも行う。作品展は、自慢の作品 3 点を出展してもらう。5 校合同で行う。	準備物 《材料》5 色百人一首（みどり・きいろ） トーナメント表等 《道具》掲示板、机等

活動の手順（流れ）	
【百人一首かるた大会】	
① ワクワク学び隊派遣依頼をし、進行・運営をしてもらう。	
② 各校で一年間取組んだ 5 色百人一首のうち、2 色（みどり・きいろ）で試合をする。	
③ トーナメント制として、敗者復活戦もある。	
④ 好きなかるたの暗唱をする。	
⑤ 早くに負けた人は、坊主めくりをする。	
【作品展】	
① 各自、自慢の 3 点を出展する。	
② 学校別に展示	
	
	
振り返りの活動	
・一年間取組んだ百人一首かるたの成果としての大会	
・一年間の作品で振り返り、保護者にも成果を見てもらう。	
活動上の留意点（工夫している点）	
・大学生との交流を図る。	
・かるたが苦手な子も坊主めくりで楽しんでもらう。	
・かるた大会に参加しやすくするため、工作（キューブパズル作り）の時間もとる。	
・作品が良く見えるように、展示方法を工夫する。	
・会場を生涯学習センターくすのきプラザとすることで、一般の方にも作品を見てもらえる。	

取り組む子供たちの様子・気づき・困っていること
・かるた大会は、負けると涙も出る子もいるが、我慢することも学ぶ。
・大学生の進行で、雰囲気や和やかになる。
・作品は、みんな自慢で、作品の説明をよくしてくれる。

活動プログラム シート

土曜くまのっ子教室 【 熊野町 】	教室の概要
	開催日・開催時間：土曜日・10：00～12：00 年間開催回数：16回 参加学年・平均参加人数：町内小学生・平均16名 実施校区：町内全域 主な活動場所：町内公民館

プログラム名	
土曜くまのっ子教室 クリスマス会	
活動の概要・ねらい	準備物
<ul style="list-style-type: none"> マシュマロコーンフレークとホットケーキミックスで作る肉まん ジェスチャーゲームや熊野町のキャラクターのふでりと写真撮影 	別紙レシピのとおり クリスマスの飾り (ジェスチャーゲーム)・画用紙・マジック (記念写真) チェキ

活動の手順（流れ）
<ul style="list-style-type: none"> 3時間のクリスマス会のうち、前半に料理を作り、後半にゲーム等をするチームと、前半にゲーム等をして、後半に料理を作るチームに分かれた。 教育委員会の給食指導員に来てもらい、別紙レシピの通り、調理を行った。 ゲームは、見本のイラストを先頭の児童に数秒みせ、その後イラストを見ずに絵を描いて、どんどん後ろの人は前の児童の絵を真似して描き、最後の児童が最初にみたイラストは何だったのかをあてるジェスチャーゲームをした。 クリスマスツリーの飾りつけ、ふでりんと記念写真撮影。
振り返りの活動
<ul style="list-style-type: none"> 「楽しかったですか」と全体に問いかけている。 今後は個別に意見を聞くことも大切。
活動上の留意点（工夫している点）
<ul style="list-style-type: none"> 高学年が低学年をサポートできるように、チームを編成する。また、高学年がチームのリーダーであることを自覚させる。 ジェスチャーゲームでは、高学年から低学年の順に並び、できるだけ低学年の負担を少なくする。



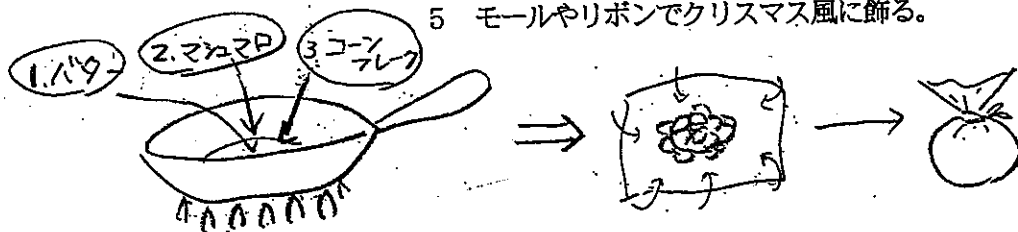
取り組む子供たちの様子・気づき・困っていること
<ul style="list-style-type: none"> ジェスチャーゲームが盛り上がりかけたので、内容など工夫する必要がある。 (全体に関すること) 参加する人数が少ない。料理を作る回は参加人数が多いが、全体的には年々参加者が減少している。

マシュマロコーンフレーク

材 料	4人分 (8個)
コーンフレーク	50g
マシュマロ	30g
バター	20g
モール	10cm×8本
リボン	8個
クッキングペーパー	20cm×20cm 8枚

<作り方>

1. すこし大きめの片手鍋にバターを入れ、弱火にかける。バターが溶けたらマシュマロを加え、木べらでかき混ぜながら溶かす。
2. すっかり溶けたらコーンフレークを加え全体にからめるように混ぜ合わせ、しっかり混ぜたら火を止める。
3. 1個分ずつラップにとって丸める。熱いので注意！冷めて硬くなったら少し加熱を。
4. 時間があればラップに包んだまま冷蔵庫で30分冷やす。(温かいままでも美味しい)
5. モールやリボンでクリスマス風に飾る。



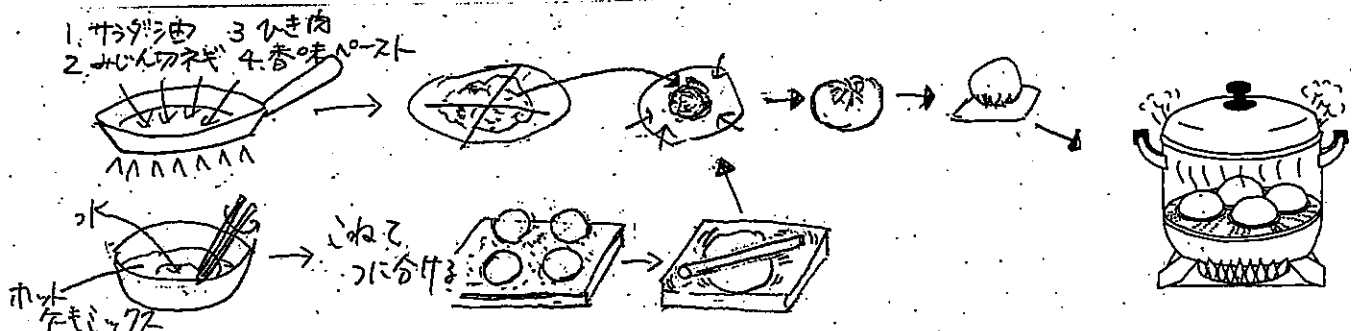
ホットケーキミックスで作る肉まん

材 料	4人分(4個分)
ホットケーキミックス	150g
水	60cc
豚ひき肉	100g
ネギ (100g)	1~2本
サラダ油	大さじ1/2
A 香味ペースト	大さじ1
片栗粉	小さじ1
小麦粉 (打ち粉用)	適量
クッキングペーパー	10cm角 8枚

<作り方>

1. ネギは粗みじん切り。
2. フライパンにサラダ油を熱し、中火でネギをさっと炒め、ひき肉を加えてしっかり火をとおり、Aで調味する。半分にして一方にカレー粉を混ぜる。皿に開けて粗熱を取る。
3. ボウルにホットケーキミックスを入れくぼみを作って、水を入れ、さいばしで混ぜよく混ぜたら2、3分こねてひとまとめにする。まな板に小麦粉を振り8つに分けて丸める。生地を円形に麺棒で伸ばし真ん中に2の肉だねの1/4をのせて包む。
4. 閉じた口を下にして10センチくらいの角に切ったクッキングシートに載せ、蒸気の上上がった蒸し器で中火で15分蒸す。





*肉だねに、ピザソースととろけるチーズを加えてピザ饅にするのも楽しいよ。




活動プログラム シート

横浜放課後子供教室 【 坂町 】	教室の概要
	開催日・開催時間：毎週水曜日・15時～17時 年間開催日数：37日 参加学年・平均参加人数：1～4年生 60人 実施校区：横浜小学校区 主な活動場所：横浜小学校 横浜ふれあいセンター

プログラム名	
【工作】スクリュースクーター	
活動の概要・ねらい	準備物
小刀を使って、木（桧）を削る。 スクリューを作って、実際に、水の上に浮かべて、動かしてみる。 （所要時間2時間）	[材料]・厚紙・輪ゴム・はさみ・針金・木 ・ビニールテープ・ビーズ [道具]・はさみ・木工用ボンド・小刀 ・たらい

活動の手順（流れ）	
①桧を小刀で削って、スクリュースクーターを加工する。 ②スクリュースクーターを固定する。スクリュースクーターが回りやすいように、ビーズをつける。 ④舟（台）に、スクリュースクーターを接着剤でつける。 ⑤輪ゴムをつける。	
振り返りの活動	 
<ul style="list-style-type: none"> 実際に、船を水に浮かべて遊んでみる。上手に走らない時は、スクリュースクーターの向きを変えて、遊んでみる。 参加した全員に、頑張って取り組んだ証に、ボランティアさんお手製の『金メダル』を渡す。 	
活動上の留意点（工夫している点）	
<ul style="list-style-type: none"> 事前に、小刀の使い方について、十分に注意をする。 低学年でも、時間内に完成できるように、作業の工程を省略する。 	

取り組む子供たちの様子・気付き・困っていること	
<ul style="list-style-type: none"> 完成まで、夢中になって取り組むことができた。 子どもに小刀を使わずに、ボランティアの配慮が必要である。 実際に、水の上を走らせてみて、子ども達は、うれしそうだった。 	



